

トキ次郎奮戦記

2023/10/8 能登トキファンクラブの来年度の主活動に、ゆるキャラのトキ次郎の制作を決定

2023/12/15 トキ次郎のフィギュアを作成する



2023/12/25 北國新聞と北陸中日新聞の取材を受ける、年明けの1月3or4日に新聞に掲載の予定

2024/1-/1 能登半島地震発生トキ次郎はボロボロになりました



新聞掲載実現せず

町民のみなさんが壊滅的な被害を受け、能登トキファンクラブの会員の皆さんも同様の被害状況で能登全体が悲痛のどん底に沈んでいるのにトキの放鳥は勿論、トキ次郎どころではありませんでした

2024/4/14 北國新聞に「心寄せるシンボルを」と題しくまモンを育んだ元熊本県職成尾雅貴氏の記事で「くまモン」が熊本地震でのシンボルとして大きな役割を果たし、復興から飛躍へと熊本を導いた経緯を知りました。

一度は絶滅したトキを再び能登の大空に復活させ、能登地域に活力を生みだそうとする放鳥を支援する「能登トキファンクラブ」の活動の一つである「トキ次郎」の制作はトキの放鳥支援を超え地震からの復興のシンボルに成りうるのではと改めてトキ次郎の制作に取り組み始める。

2024/4/15 トキ次郎の頭の制作が始まる

厚紙を円錐状に12枚用意し地球儀を作る要領で張り合わせ球体を制作し、その上に新聞紙を5層ノリで張乾燥後紙粘土を3回塗り付けることにより制作

2024/5/3

胴体の制作に取り掛かる身長は175cmと決める
針金で球体を作り、厚紙を提灯のように針金の上
に張り付けその上に新聞紙を3重に張、その上に
障子紙を3重にノリではり、更に上に紙粘土を3
重に塗り乾燥させることにより作製する



2024/5/20

足部の制作に取り掛かる、脛はモウソウ竹を使用
足は発泡スチロールで、尻尾と羽は床用断熱スチロールで制作
表面を新聞紙で覆いその上に紙粘土を塗りました

2024/5/25

半ズボンなど装身具を作成する

2024/5/28

着ぐるみの予定でしたが紙粘土は強度がなく
1度は着れても破損が考えられ、今回は人形
として利用することにする



2024/5/31



トキ次郎が8羽のスマール
トキ次郎が8羽のスマール
共に完成

当初は175cmでしたが足が長くバランス取れなかつたので足を10cm切ったため身長は165cmになりました

2024/6/12

穴水町大町の吉村商店の前に初出現

2024/6/17

トキ次郎が穴水町第3仮設に出現したことがNHKかがのとで放映される

2024/7/12

北川内科クリニック待合室に出現

2024/7/21

穴水町長谷部まつり舞台前に出現

2024/7/23

334-D地区3R3Zライオンズクラブ役員会場に出現（羽咋市）

2024/8/1

334-D地区3R3Z七尾ライオンズクラブ家族例会に出現（七尾市）

2024/8/7

くまモン初対面



8月27日 334D地区3R3Z（能登地区7ライオンズクラブ）前ゾンチャーパーソン
杉本茂氏からトキ次郎のぬいぐるみ制作予算がキャビネットで承認されたと連絡がありました。

8月28日 くまモン育ての親である成尾雅貴氏にくまモンを制作した業者への紹介をお願いします、当日は超大型台風10号が鹿児島県に上陸する直前で、成尾氏の住む熊本と業者のある宮崎にも大きな被害を及ぼしていました

くまモンに負けないように手も足も出るしかしたトキ次郎
を制作



12月24日 後藤洋子さんによる穴水駅でクリスマスコンサート
トキ次郎参加、トキ次郎の歌「能登の大空に共に羽ばたこう」を披露

12月27日 トキ次郎の着ぐるみの形が決定しキグルミビズ・ビズに年明けからの
製作を依頼する



2月3日 特許庁が商標登録が出願書を適法と認め審査に入る

2月15日 能登トキファンクラブがトキ次郎と共にサタデイウオッチ9で全国放送される

新聞でも北國、北陸中日で報道されるとともに、共同通信により全国の地方死新聞で報道される

2月18日 輪島市かわい保育園で越戸氏による紙芝居でトキ次郎講座を開き園児にトキ次郎と園児が交流する



3月29日

能里とトキ次郎シンポジウム開催

会場 のとふれあい文化センター

時間 13:00~15:45

能里とトキ次郎シンポジウム

ニッポニア

#トキ次郎見参



力を合わせ がんばろう 能登・石川 !!

トキ能里が1970年1月8日に佐渡に移送され、本州からトキがいなくなり55年目にあたる今年ゆるキャラトキ次郎が誕生しました、誕生記念事業としてシンポジウムを開催します、皆様のご参加をお待ちしています。

- 基調講演 : 熊本県職OBくまモン育ての親 成尾雅貴氏
演題: 100年後も愛されるキャラクターを目指して
副題: くまモンの成功の秘密
- 演題 : トキの餌調査の最新状況について
(水田及び水辺でのDNAによる生物調査の現状)
- 場所 : のとふれあい文化センター
風珠郡穴水町字内浦5-28-3 (TEL:0768-52-3401)
- 日時 : 令和7年3月29日 (土) 13:00より
- 主催 : 能登トキファンクラブ
: 334D地区3R-3Zライオンズクラブ
- 後援 : 穴水町

「トキ次郎」初公開ですシンポジウムに参加して見て触って励ましてください

参加者数70名



4対17日 馳浩知事を訪問「トキ次郎」の誕生とシンポジウムの結果を報告



4月22日 youtube トキ次郎ちゃんねる 公開

5月10日 ビオトープ能里の池で生物調査：令和5年5月に造成した能里の池の生物がどのように変化したか調査しました、トキ次郎も参加



5月22日

- ・ 10時に輪島市長表敬訪問しトキ放鳥への支援をお願いする
- ・ 12時30分からのNHK番組「みみより」に能登トキファンクラブが報道される

6月1日

中能登町で開催された「泥ンコピック」に参加し、開会式で行われた聖火リレーに参加し大会を盛りあげました。



7月10日

輪島市海の星幼稚園に訪問しトキのお話とトキ次郎と踊る



7月15日

穴水平和子ども園ほうもん

能登のトキ 人気広まれ

2025/7/16 北陸中日新聞

穴水のこども園 2愛好団体訪問

能登地方で来年6月にも放鳥される国の特別天然記念物「トキ」について、地域の園児にも理解を深めてもらうため、能登トキファンクラブと輪島トキファンクラブのメンバーが15日、穴水町川島の平和こども園を訪

問した。メンバーは年少一年長の園児42人に向け、生態を紹介する写真や紙芝居を披露し、トキがかつて国内で親しまれた大型の鳥であったことを解説した。能登トキファンクラブのキャラクター「ニッポニア・トキ次郎」の着ぐるみも登場し、子どもたちが歓声を上げた。(山谷 柁裕)



「ニッポニア・トキ次郎」の着ぐるみと触れ合う園児。穴水町川島の平和こども園で

7月19日

穴水町主催「長谷部祭り」を見学するトキ次郎
youtube トキ次郎で詳細が見れます

10月24日

中能登町さくら保育園

10月28日

中能登町あおば保育園

中能登町たんぽぽ保育園

10月31日

中能登町つくし育園

11月1日

イベント「復活」クラウドファンディング公開

ポスター (A2) 兼チラシ表 (B5)

チラシ裏



11月4日

中能登町こすもす保育園 (保育園での様子はyoutube「トキ次郎」で)

11月7日

中能登町とりやのの子ども園

12月1日

穴水町神杉保育園

穴水町光林寺保育園

12月6日

中能登ライオンズクラブCN50周年行事

12月9日

輪島市みどり保育園

12月25日

イベント「復活」クラウドファンディング終了

12月30日

北方喜旺氏に依頼した「朱鷺の歌」のオーケストレーション完成

1月17日

金大フィルハーモニー管弦楽団 副団長Oさん他2人と北方氏
宮下の5人で大雪の中金沢大学に近い喫茶「コメダ」で初めて打ち合わせ
北方氏はドイツ「デュッセルドルフ」から帰省しての参加でした

2月6日

能登トキファンクラブ会長宮下源一郎金沢医科大で右目網膜剥離の手術し
ミュージカルの稽古が出来なくなる。

2月14日

能登トキファンクラブ会長宮下源一郎退院、イベント「復活」開催日まで
14日えおなる。

音響・舞台設営などの仕込み、ミュージカルの稽古など問題が山積してい
る。

2月22日

イベント「復活」まで後6日、宮下和也氏に司会を依頼打ち合わせを行う

2月27日

舞台設営と音響・プロジェクターなどの仕込みを実施。

2月28日

14:00イベント「復活」開演 (youtube「トキ次郎」で見れます)

本州最後の朱鷺「能里」が死亡してから
55年目に当たる今年5月31日に能登
に朱鷺が帰ってくる

地元が立ち上がる

イベント **復活**
みんなで応援しよう



第1部 金大フィルハーモニー管弦楽団
・フィンランド人交響曲・ジョン・シベリウス
・朱鷺の歌(作曲と作曲・曲師・曲師(北沢隆史))

第2部 本州最後の朱鷺「能里」の鎮魂祭

第3部 ミュージカル
「トキ次郎能登の里山里海に羽ばたけ」

第4部 トキ次郎関連商品コンテスト発表

第5部 近隣ゆるキャラと踊ろう

日時：令和8年2月28日(土) 14時開演
場所：能登演劇堂
主催：能登トキファンクラブ

第1部 金大フィルハーモニー管弦楽団演奏会
2名発表します

1曲目：フィンランディア(作曲：ジャン・シベリウス)
2曲目：朱鷺の歌(作曲・作詞：北沢隆史)

第2部 本州最後の朱鷺「能里」の鎮魂祭

第3部 ミュージカル「トキ次郎能登の里山里海に羽ばたけ」

今日の日はさようなら

いつまでも 眠ることなく
友達のように
明日の日を夢みて
高望の道を

空を飛ぶ 鳥のように
自由に生きる
今日の日はさようなら
またあの日まで

旅じあう よろこびを
大切にしよう
今日の日はさようなら
またあの日まで
またあの日まで

3月1日

イベント「復活」の新聞記事

令和8年3月1日 北陸中日新聞朝刊

**トキ次郎が熱演
放鳥機運高める**

能登演劇堂で催し

国の特別天然記念物トキが5月31日に羽咋市で放鳥されるのを前に、機運を高める催し「復活」が28日、七尾市の能登演劇堂であった。放鳥を応援しようとして製作されたゆるキャラ「ニッポニア・トキ次郎」の着ぐるみが出演するミュージカルや、金大フィルハーモニー管弦楽団の演奏があり、約150人の観客を楽しませた。

生息場所の整備や保護施設での教室を開く能登トキファンクラブが主催する「能登の歌」などの曲を演奏した後、1970年に次町で捕獲された本州最後のトキ「能里」の鎮魂祭があり、全員で歌うなどした。

現れたトキ次郎と出会い、トキの歴史などについて会話を繰り返した。トキ次郎が「能登の大地を守る君さ、新しい未来を能登の人々につくりたい」と



トキ次郎が出演した七尾市の能登演劇堂で

夢を語る場面もあった。クラブの髙下源一郎会長(78)は「トキの力を借りて、能登も地震から復活していくんだという思い、共存のために、地元の人とトキについてもっと知ってもらいたい」と話した。

(浜中創太)

令和8年3月1日 北國新聞朝刊

能登にトキ舞う日
願い演奏や舞台
七尾イベント

5月31日に羽咋市で行われる国の特別天然記念物トキの放鳥を支援する「能登トキファンクラブ」のイベント「トキ次郎能登の里山里海に羽ばたけ」が28日、七尾市の能登演劇堂で催された。約150人が管弦楽団の演奏やミュージカルを楽しみ、能登の空にトキが舞う日を願った。

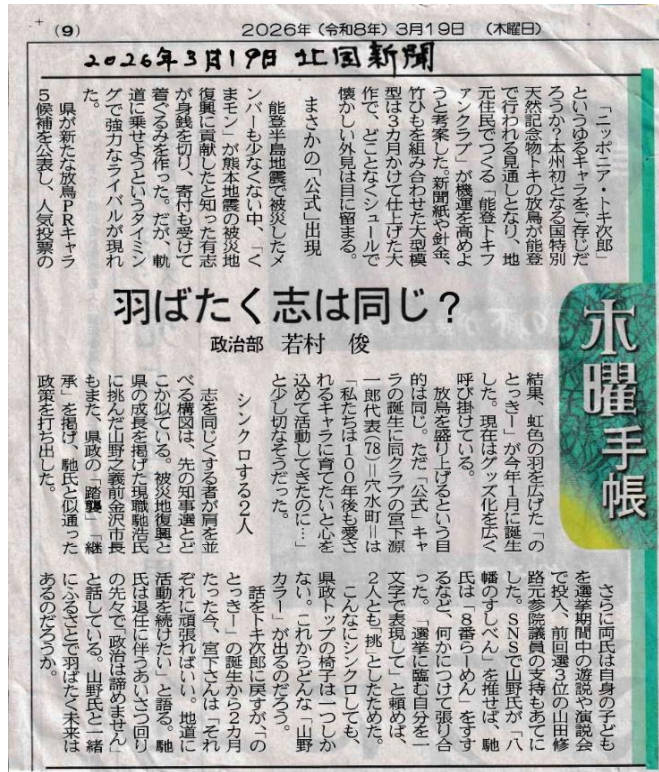
金大フィルハーモニー管弦楽団の優雅な演奏で幕開け。ミュージカルでは、ファンクラブのゆるキャラ「ニッポニア・トキ次郎」が登場し、後援会合唱団(七尾市)が歌声を響かせた。トキ次郎関連商品コンテストの発表や能登のゆるキャラの共演もあった。



トキに願うミュージカルが披露されたイベント。七尾市の能登演劇堂

3月19日

石川県知事選挙で山野氏が当選、現職馳氏が落選したことを「トキ次郎」と県公式キャラクタ「のとっきー」をライバル視して報道していました。草の根運動を展開する「トキ次郎」への応援なのでしょうか、トキ次郎の思いは複雑。



4月8日

イベント「復活」の事業の1つであるトキ次郎関連商品開発コンテストのことが北陸中日新聞に大きく取り上げられました。



